

校長室から

浅原ヴィヴァンテオーケストラ演奏会から思うこと



1月25日（日）午後、浅原小学校の菅原元校長先生が中心となって活動をはじめた、「ヴィヴァンテオーケストラ」の感謝の気持ちを込めた演奏会が開催されました。当時は、浅原の子ども達に音楽に親しんでほしいという気持ちで始めた小さな活動がだんだん大きくふくらんで、今までに浅原小学校体育館で2度の演奏会まで実施した経験のあるオーケストラでした。3月末で閉校ということを知って、今までにお世話になった地域の皆様

に感謝の気持ちを伝えるために、わざわざ時間をつくって来てくださいました。

小学校時代に習った地元の方も混じって、盛大な会が実施されました。関係者の皆様本当にお世話になりました。これまでの浅原小学校で行われてきた確かな活動の一端を垣間見ることができました。音楽の灯を絶やさないで、これからも音楽を愛する子どもたちがこの浅原から育って行ってほしいものだと感じました。

広島県の教育がさらにパワーアップしていきます！

広島県教育委員会が平成26年12月に、これから10年先を見通した新たな教育プランを策定しました。**広島版「学びの変革」アクション・プラン**です。

グローバル化する21世紀の社会を生き抜くための新しい教育モデルの構築
～コンピテンシー（資質・能力）の育成を目指した主体的な学びの充実～
【これまで】（知識の量） 【これから】（知識の構造）

何を知っているか



知識を活用し、協働して新たな価値
(イノベーション)を生み出す

「**グローバル化**」とは…知識に国境はない。人・もの・情報が行き交う時代、異文化コミュニケーションが大切になる。

「**コンピテンシー**」とは…知識、スキル、意欲・態度、価値観・倫理観の資質・能力

「**主体的な学び**」とは…「課題発見・解決学習」や「異文化間協働活動」を能動的に行う（アクティブ・ラーニング）。学び続ける力。

★学校では、次代を担う子ども達に上記の力を付けていくように取り組んで参ります。